

第179回 中小企業景況調査報告書

景況動向

2024年 1月～ 3月期 実績

2024年 4月～ 6月期 見通し

2024年 4月

岐阜県商工会連合会

中小企業景況調査

—— 2024年1月～3月 ——

はじめに

中小企業景況調査とは、最近のめまぐるしい経済環境の変化に即応するため、地域の経済動向等に関する諸事情を把握・分析し各商工会・企業へ情報を提供するとともに、経営対策の一助とするため、昭和54年度より四半期毎に実施しているものです。本報告書は、第179回調査結果（2024年1月～3月期）の概要です。原材料価格、仕入単価の上昇の影響が続いており、今後の景況動向に引き続き注視していく必要があります。

1. 調査方法

商工会の経営指導員等による訪問面接調査

2. 調査対象時期

2024年1～3月を対象とし、調査時点は2024年3月1日とした。

3. 調査対象商工会〔商工会コード順〕

2023年度の調査対象商工会は、次のとおりとする。

大垣市・高山南・関市東・中津川北・恵那市恵南・郡上市・
安八町・池田町・北方町・坂祝町・富加町・八百津町・御嵩町・
笠原町・小坂町・下呂 以上16商工会

4. 調査対象企業及び内訳

本調査における調査対象企業は、地区内の中小企業（建設業及び製造業については従業員300人以下又は、資本金3億円以下、小売業については、それぞれ50人以下又は、5千万円以下、サービス業については、それぞれ100人以下又は、5千万円以下）とする。

但し、おおむね80%は小規模企業（建設業及び製造業については従業員20人以下、小売・サービス業については5人以下の企業）とする。

(1) 対象地区・企業数

	岐 阜 県
対 象 地 区	16 商工会地区
対象企業数	240 企業
回答企業数	225 企業 (回答率 93.7%)

(2) 産業別構成

	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	45	20.0
建 設 業	31	13.8
小 売 業	63	28.0
サービス業	86	38.2
合 計	225	100.0

DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目についての増加（上昇・好転・長期化）企業割合と減少（低下・悪化・短期化）企業割合の差を示すものです。

産業全体の業況D I 値が3期連続で悪化

〔県下商工会の概要〕

◆ 産 業 全 体 ◆

産業全体（全業種）の業況D I 値は、▲20.9で前期（2023年10月～12月期）と比べ0.2ポイントとわずかながらではあるが悪化した。

業種別の業況D I 値は、製造業9.3ポイント、小売業1.8ポイント、サービス業0.4ポイント悪化、建設業16.3ポイント改善となった。

全業種において、原材料価格や仕入単価の上昇が、経営上の問題点となっており、業況D I 値が引き続き影響を受ける恐れがある。

（1）今期の概要

① 売上額（完成工事高）

全業種の売上D I 値は▲22.2で前期比13.4ポイント悪化。

業種別では、製造業、サービス業が悪化、建設業、小売業は改善となった。

② 採算（経常利益）

全業種の採算D I 値は▲35.1で前期比3.2ポイント悪化。

業種別では、製造業、サービス業が悪化、建設業、小売業は改善となった。

③ 資金繰り

全業種の資金繰りD I 値は▲18.4で前期比7.1ポイント悪化。

全業種で悪化となった。

④ 設備投資

設備投資は、34企業42件で前期比7企業、2件の増加となった。

⑤ 経営上の問題点

全体として、「原材料価格の上昇」「仕入単価の上昇」などが引き続き大きく影響している。

（2）来期の見通し

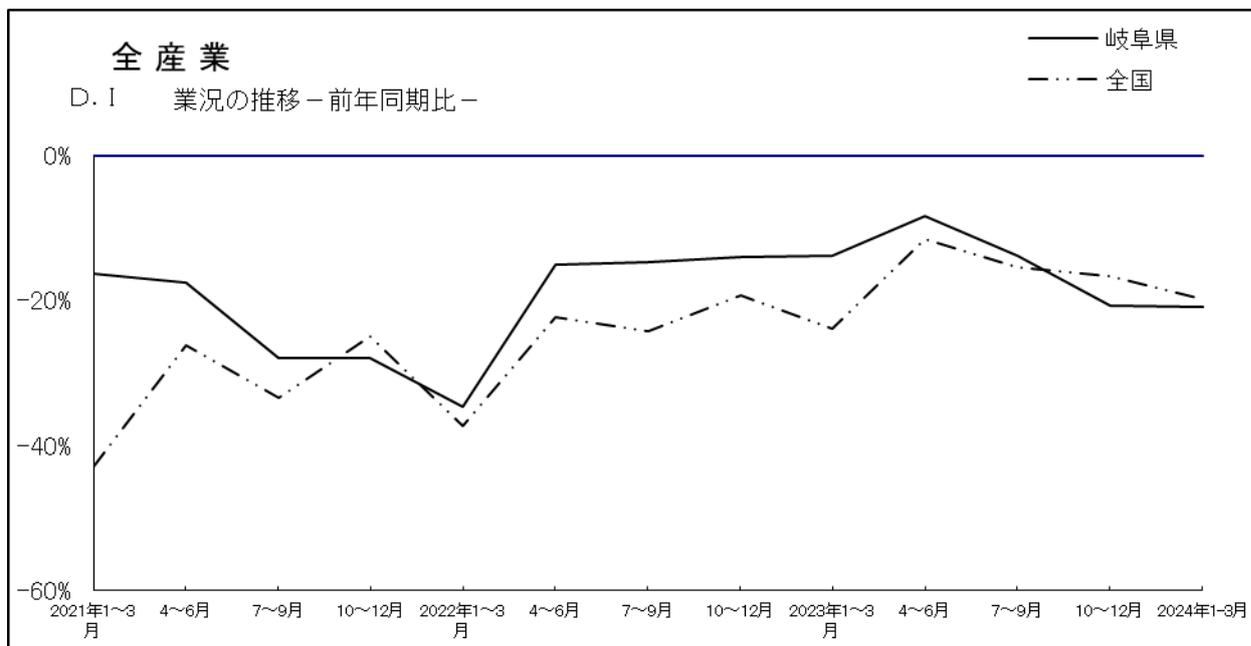
① 全産業の業況D I 値は▲19.1で1.8ポイント改善の見通し。

業種別では、製造業、建設業は改善、それ以外は悪化の見通しである。

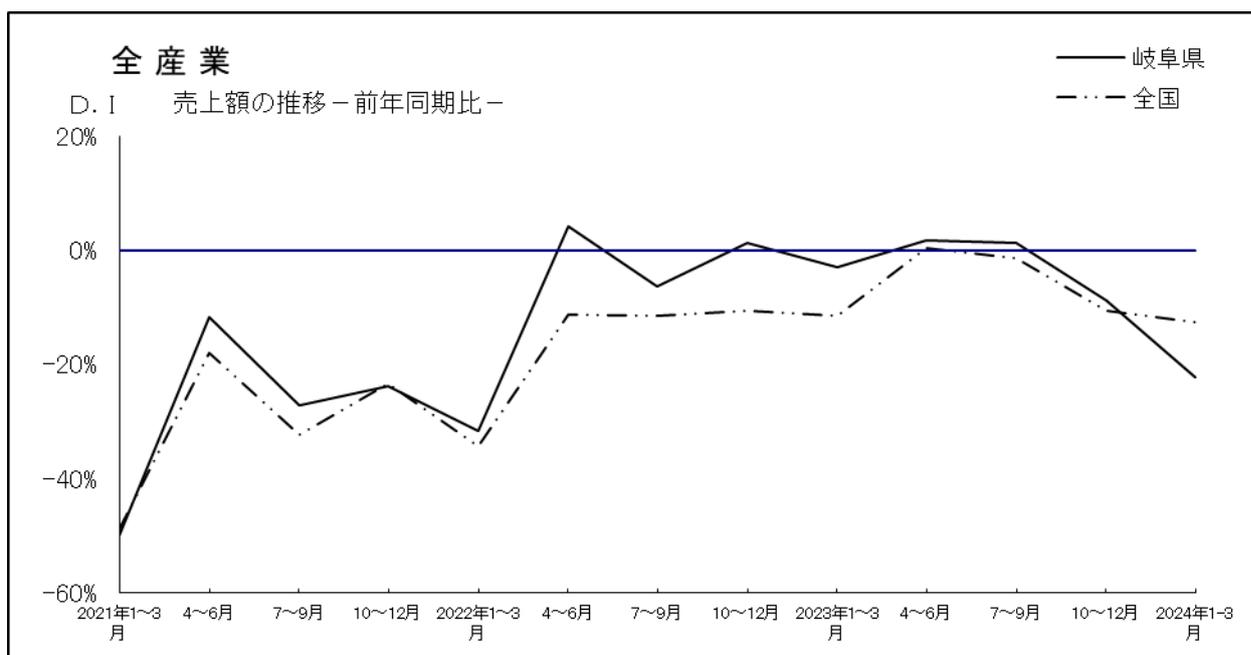
② 設備投資

30 企業 55 件の設備投資を計画しており、今期に比べ 4 企業の減少、13 件の増加の見通し。

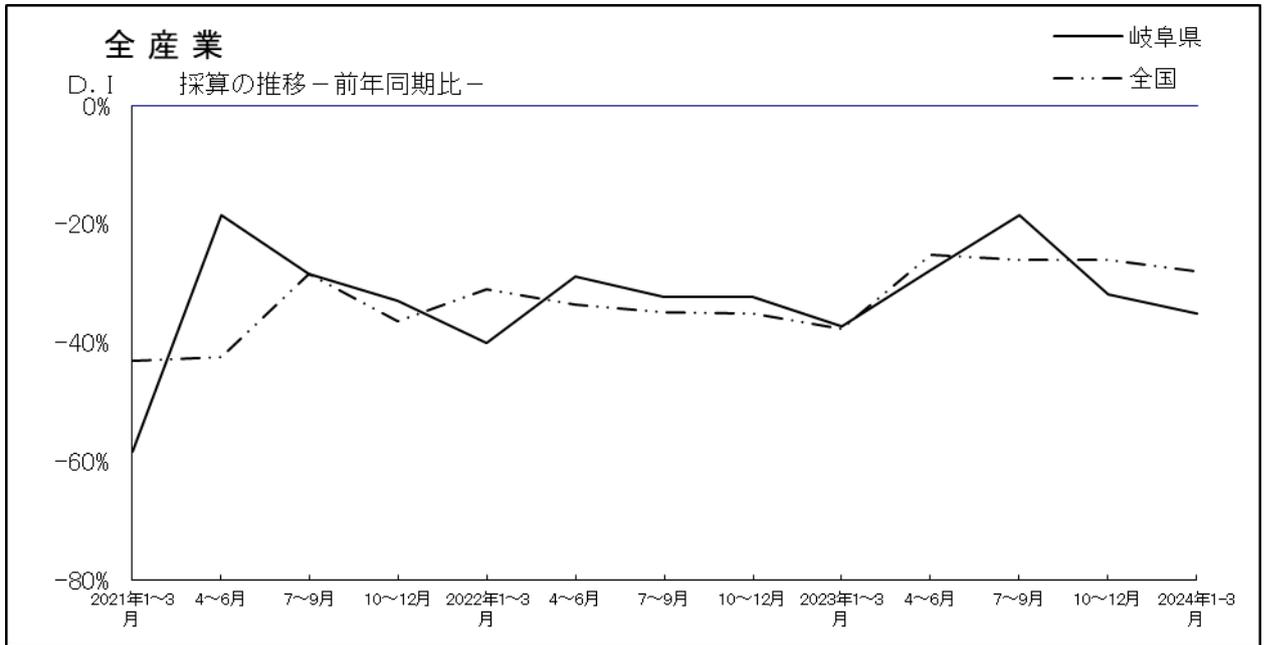
【G1-1】 産業全体 D I : 業況の推移 (岐阜県・全国)



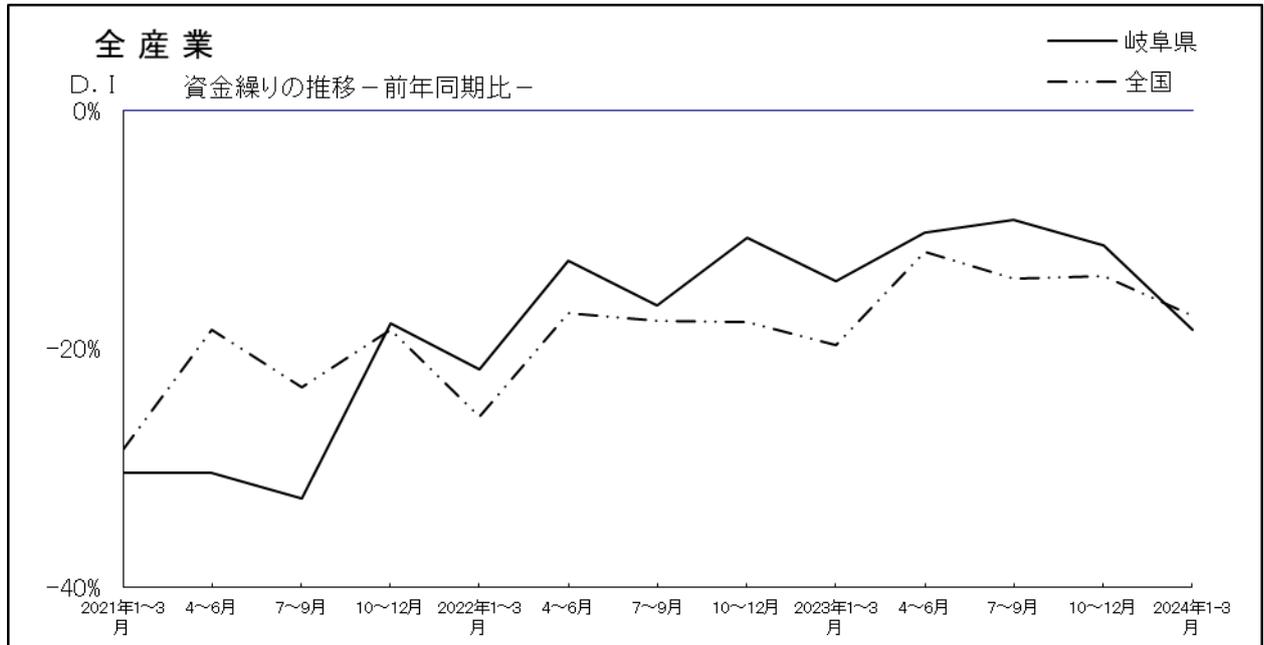
【G1-2】 産業全体 D I : 売上高の推移 (岐阜県・全国)



【G1-3】 産業全体D I：採算の推移（岐阜県・全国）】



【G1-4】 産業全体D I：資金繰りの推移（岐阜県・全国）】



すべてのD I 値が悪化 生産設備の不足・老朽化が経営上の問題点に

I 製 造 業

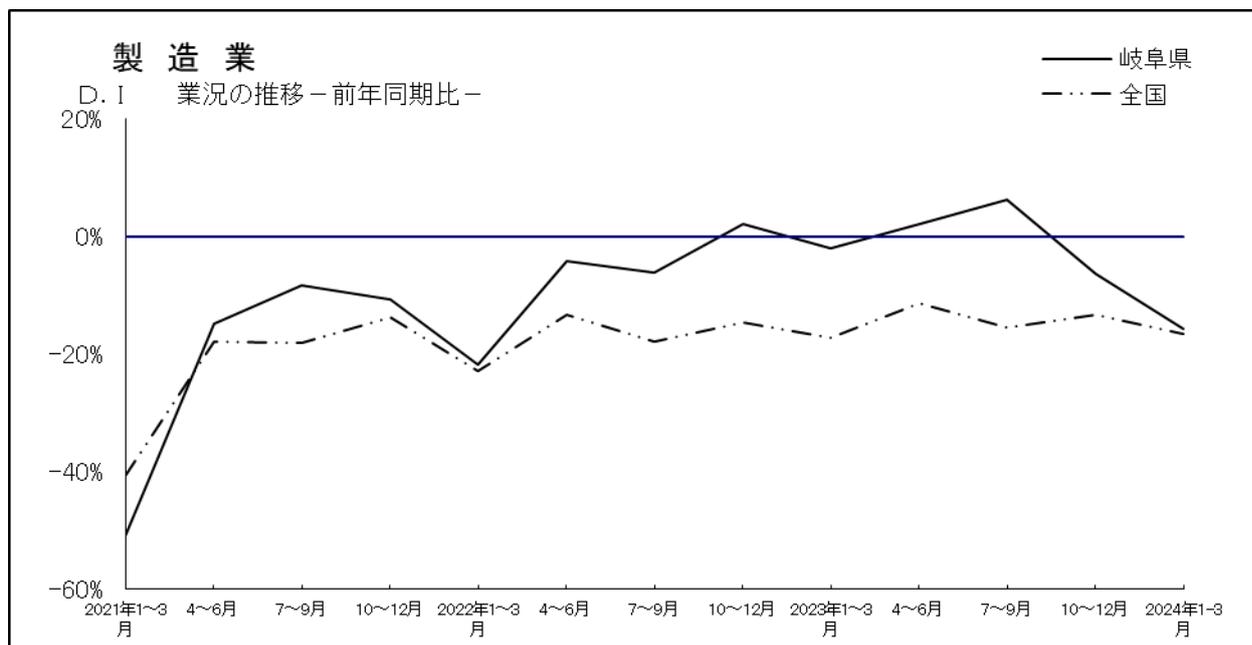
前年同期比の業況D I 値は、▲15.6で前期に比べ9.3ポイント悪化した。
 売上D I : ▲20.0で30.4ポイント、採算D I : ▲26.7で14.2ポイント、
 資金繰りD I : ▲11.4で7.2ポイントの悪化となった。

設備投資は、9企業12件で前期比2企業、1件の増加。

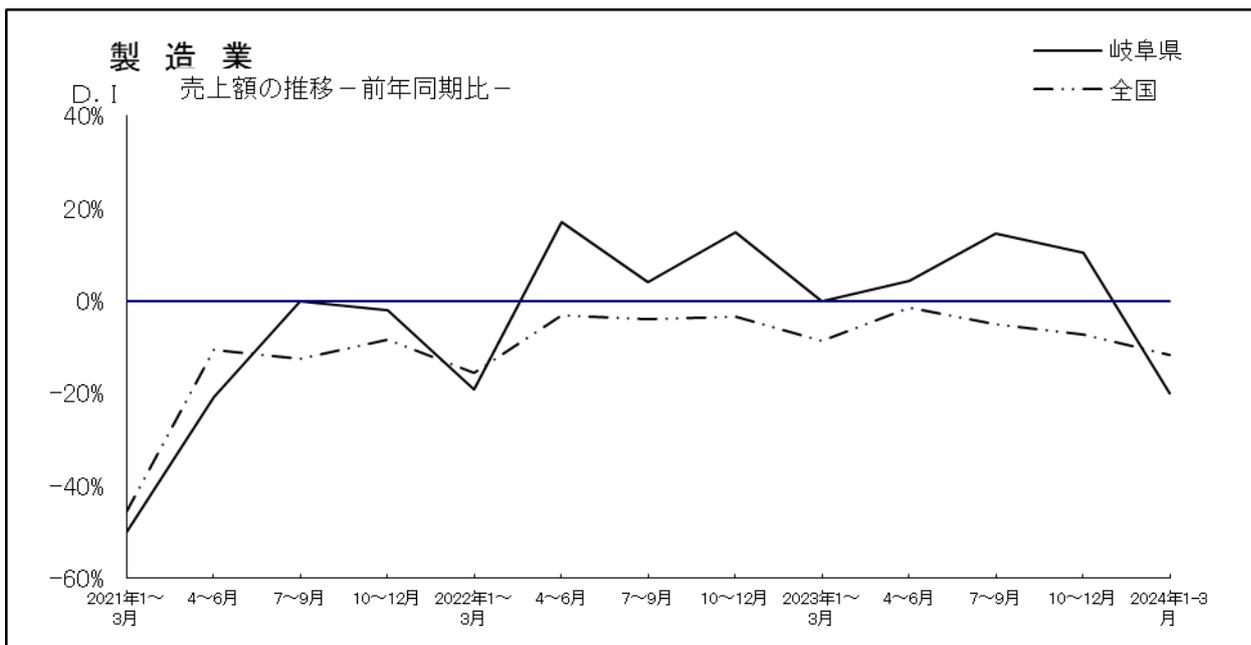
経営上の問題点は、前期に引き続き「原材料価格の上昇」が33.3%でトップ、次いで「生産設備の不足・老朽化」が14.3%となっている。

来期は、業況・売上・採算が改善、資金繰りが悪化の見通し。設備投資は7企業13件の計画であり、今期に比べ2企業減少、1件増加の見通しである。

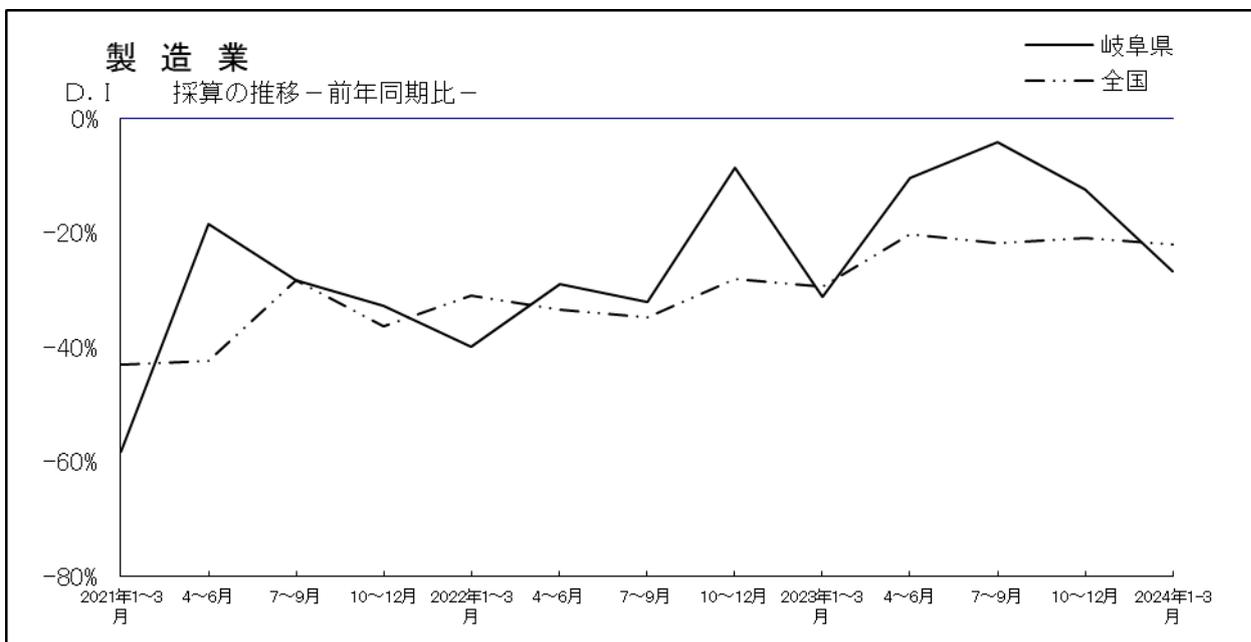
【G2-1】 製造業D I : 業況の推移



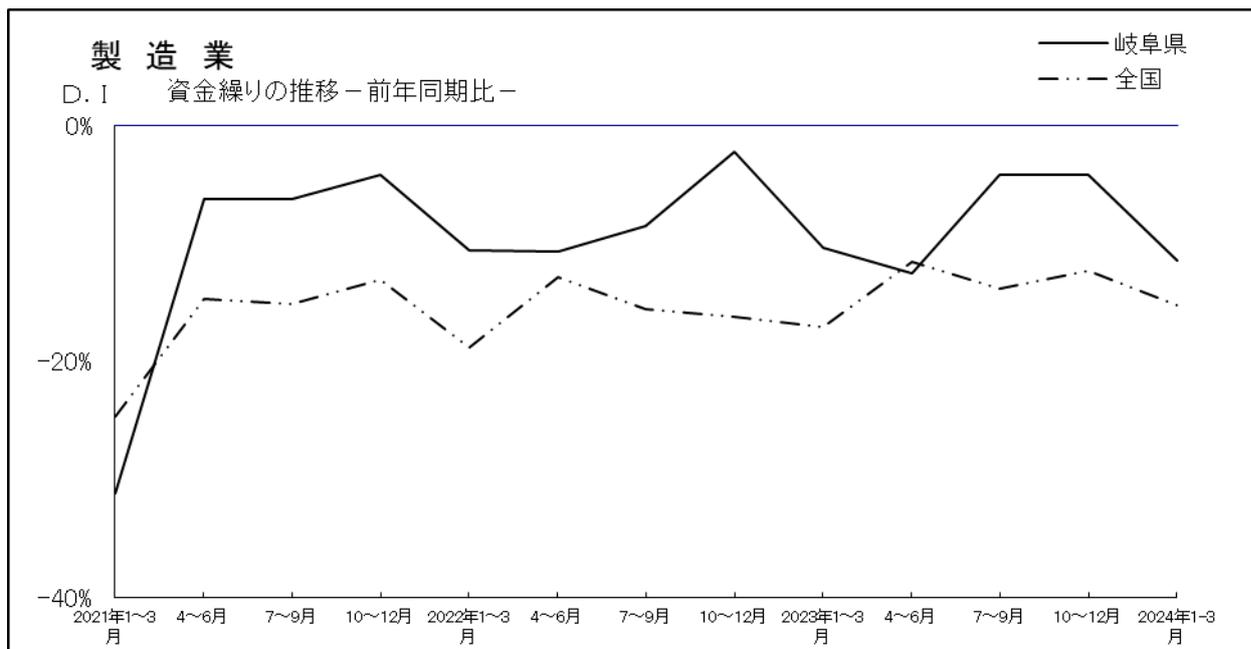
【G2-2】 製造業 D I : 売上額の推移



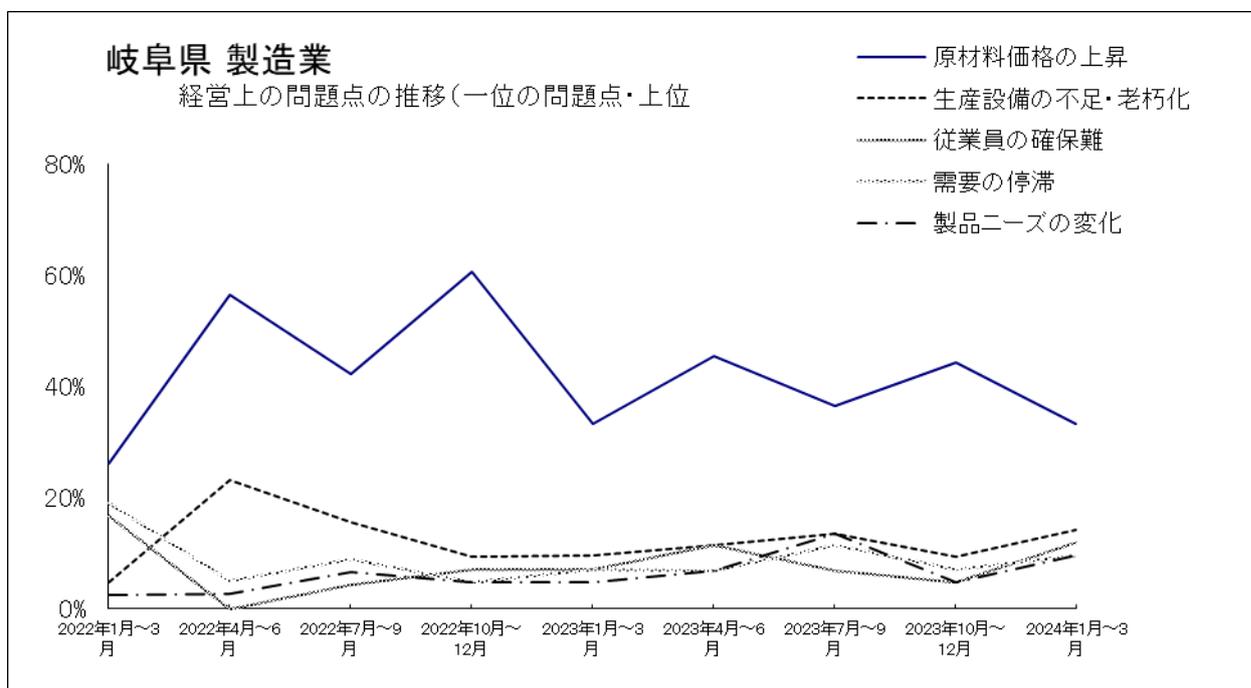
【G2-3】 製造業 D I : 採算の推移



【G2-4】 製造業 D I : 資金繰りの推移



【G2-5】 製造業 : 「経営上の問題点」の推移



業況、売上、採算のD I 値が大幅に改善 来期は売上を除いたD I 値がさらに改善の見通し

Ⅱ 建 設 業

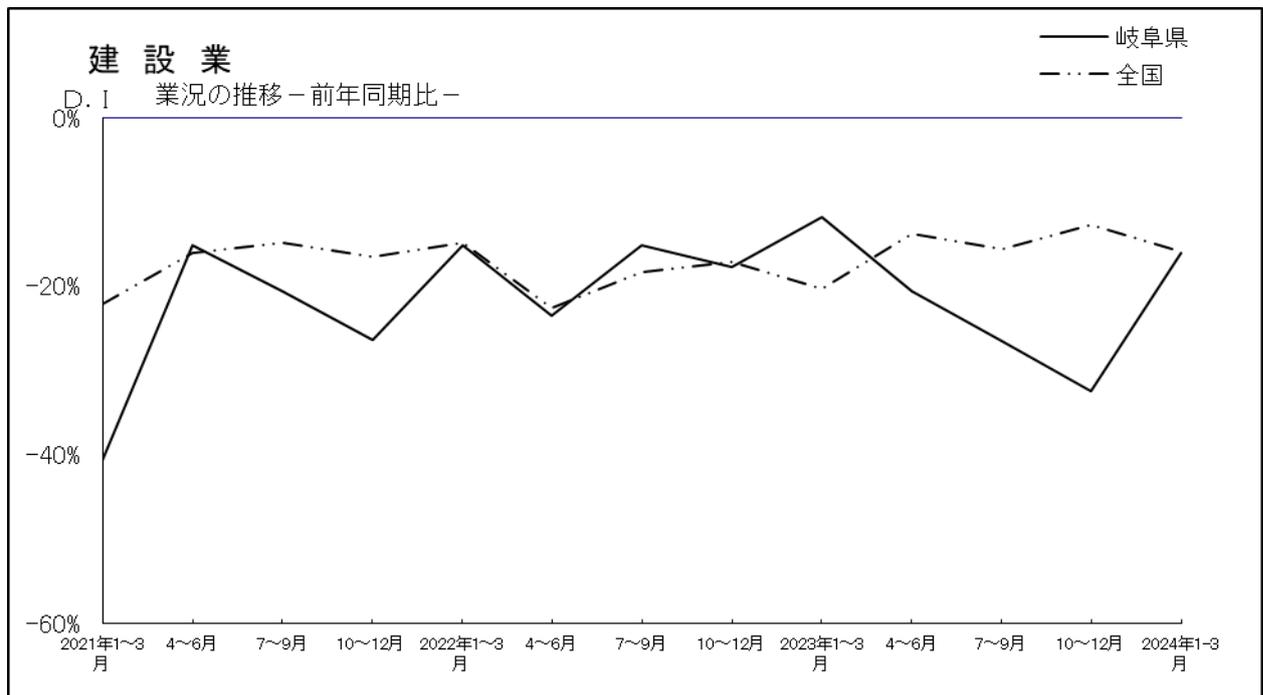
前年同期比の業況D I 値は、▲16.1で前期に比べ16.3ポイント改善した。売上D I：▲32.3で前期に比べ8.9ポイント改善、採算D I：▲32.3で5.9ポイント改善、資金繰りD I：▲22.6で10.8ポイント悪化となった。

設備投資は、9企業12件で前期比5企業、4件の増加。

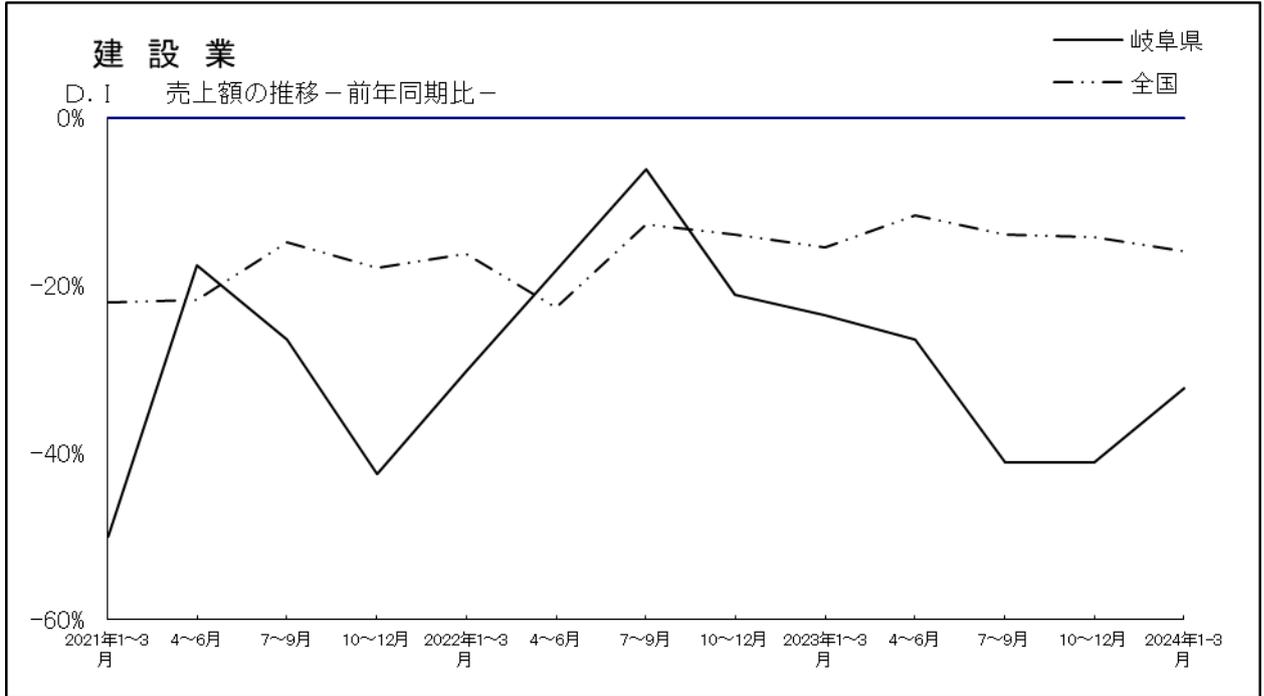
経営上の問題点は「材料価格の上昇」が32.3%でトップ、次いで「従業員の確保難」が12.9%となっている。

来期は売上D I 値以外が改善の見通し。設備投資は8企業10件の計画で今期に比べ1企業、2件減少の見通しである。

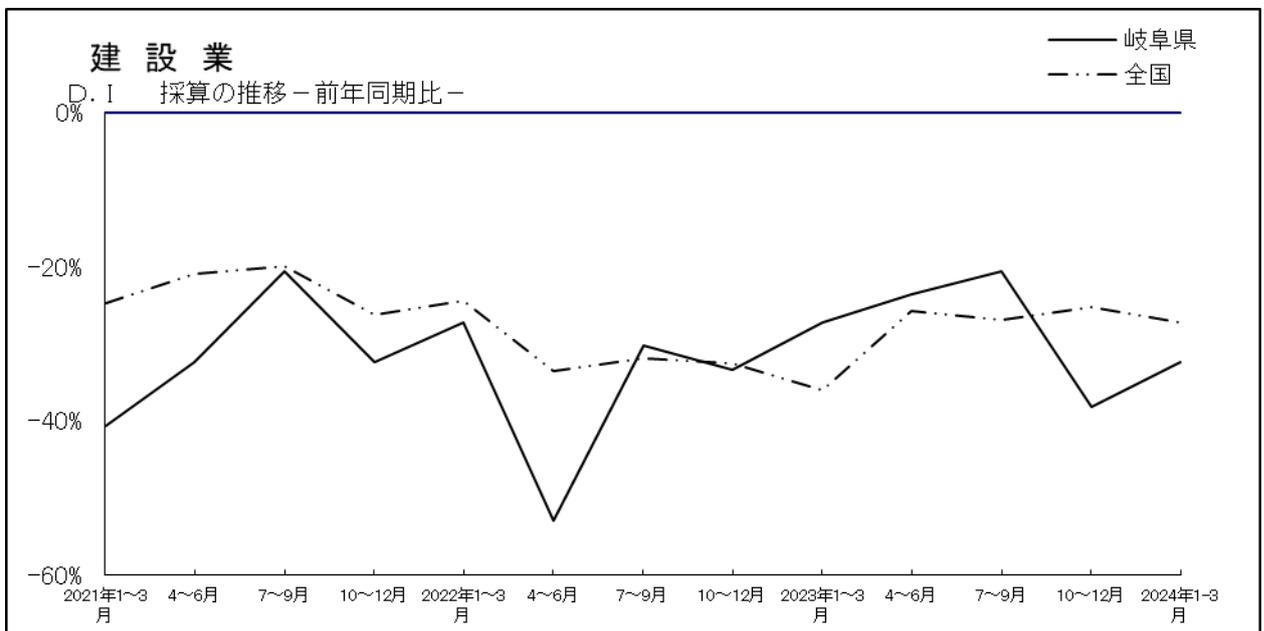
【G3-1】建設業D I：業況の推移



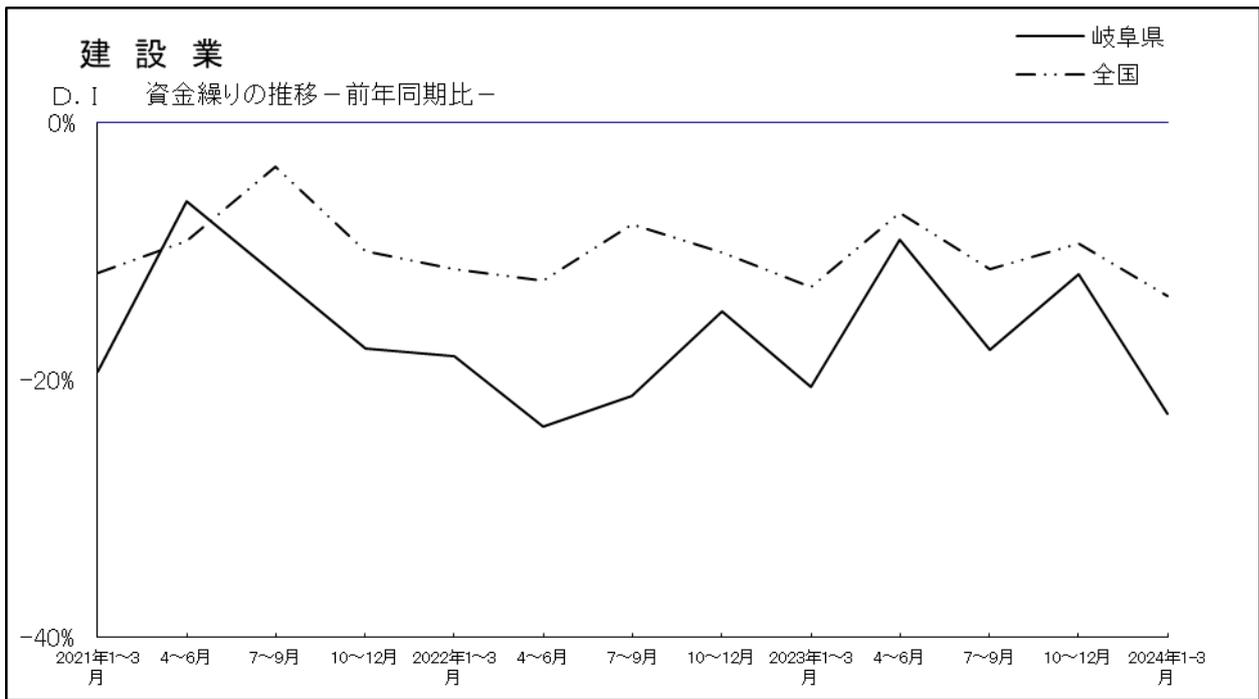
【G3-2】建設業D I：売上額の推移



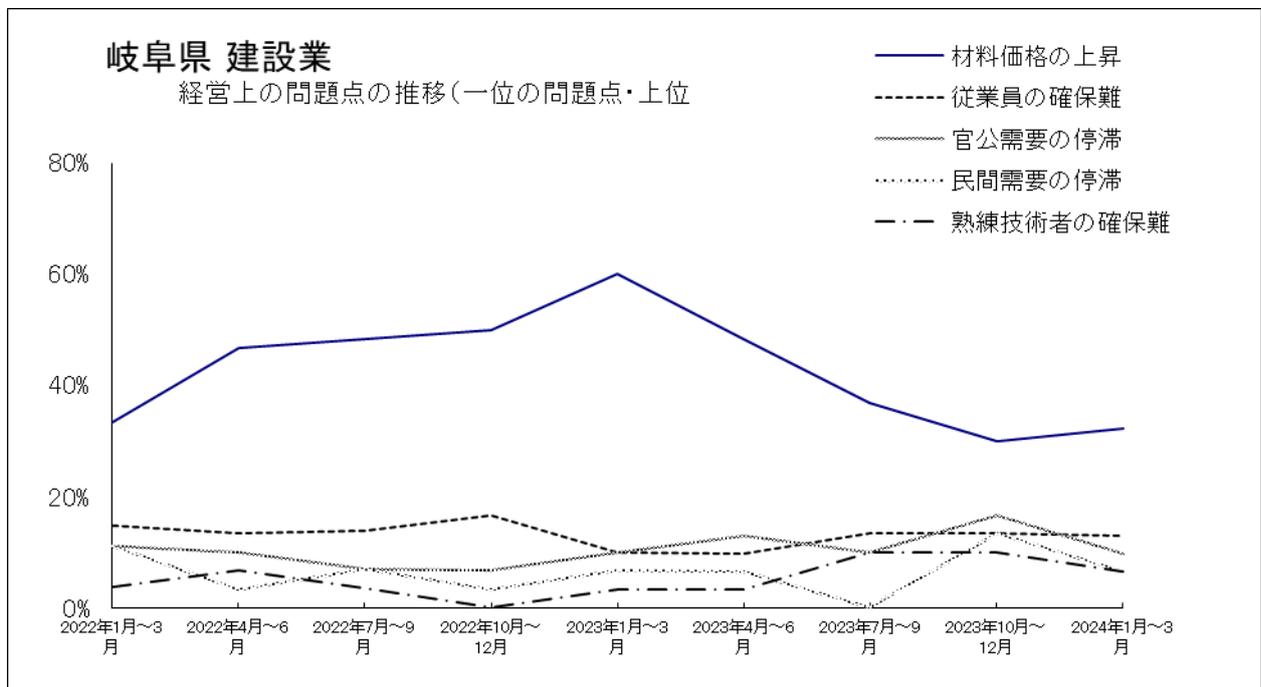
【G3-3】建設業D I：採算の推移



【G3-4】建設業D I：資金繰りの推移



【G3-5】建設業：「経営上の問題点」の推移



設備投資企業数、件数ともに減少 来期は資金繰りを除き、D I 値が悪化の見通し

Ⅲ 小 売 業

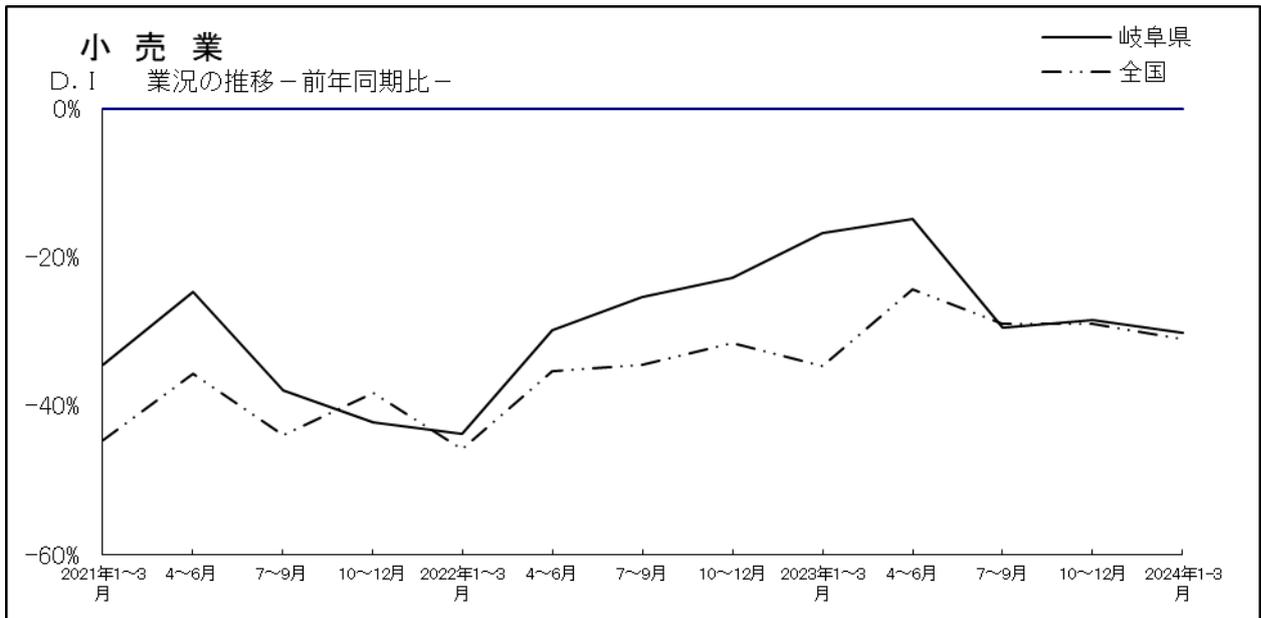
前年同期比の業況D I 値は、▲30.2で前期に比べ1.8ポイント悪化した。
 売上D I：▲23.8で2.7ポイント、採算D I：▲34.9で5.4ポイント改善、資金繰りD I：▲20.6で4.4ポイント悪化となった。

設備投資は、5企業5件で前期比4企業、8件減少となった。

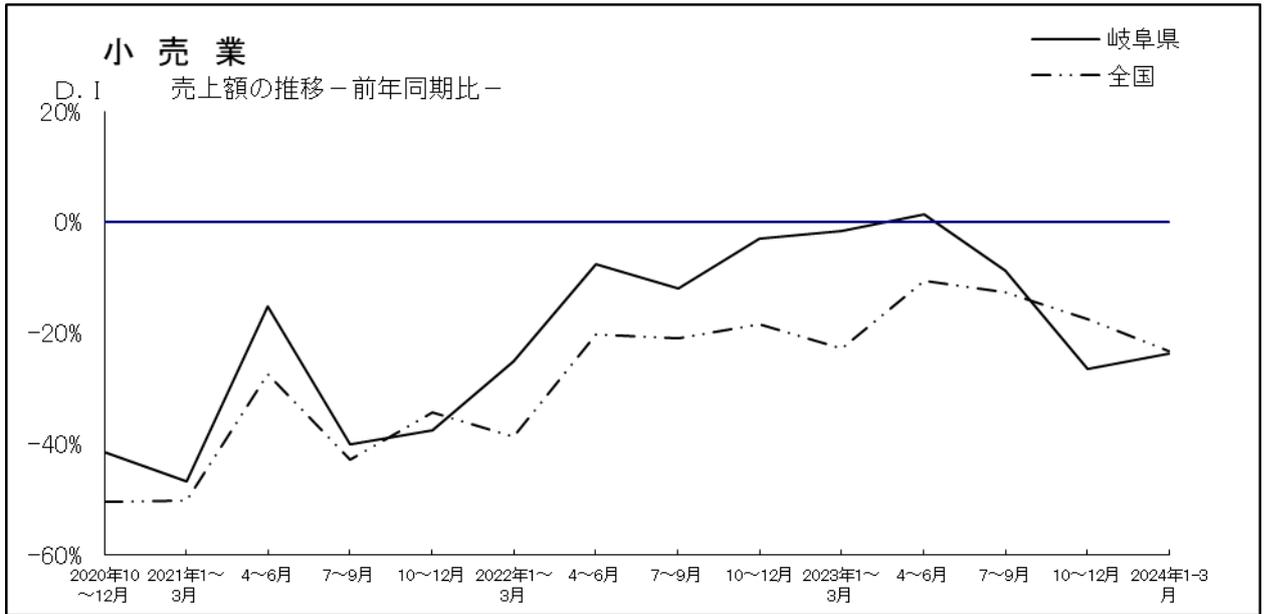
経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が29.5%でトップ、次いで「消費者ニーズの変化」が14.8%であった。

来期は、業況、売上、採算のD I 値が悪化の見通し。設備投資は4企業7件の計画で、今期に比べ1企業減少、2件増加の見通しである。

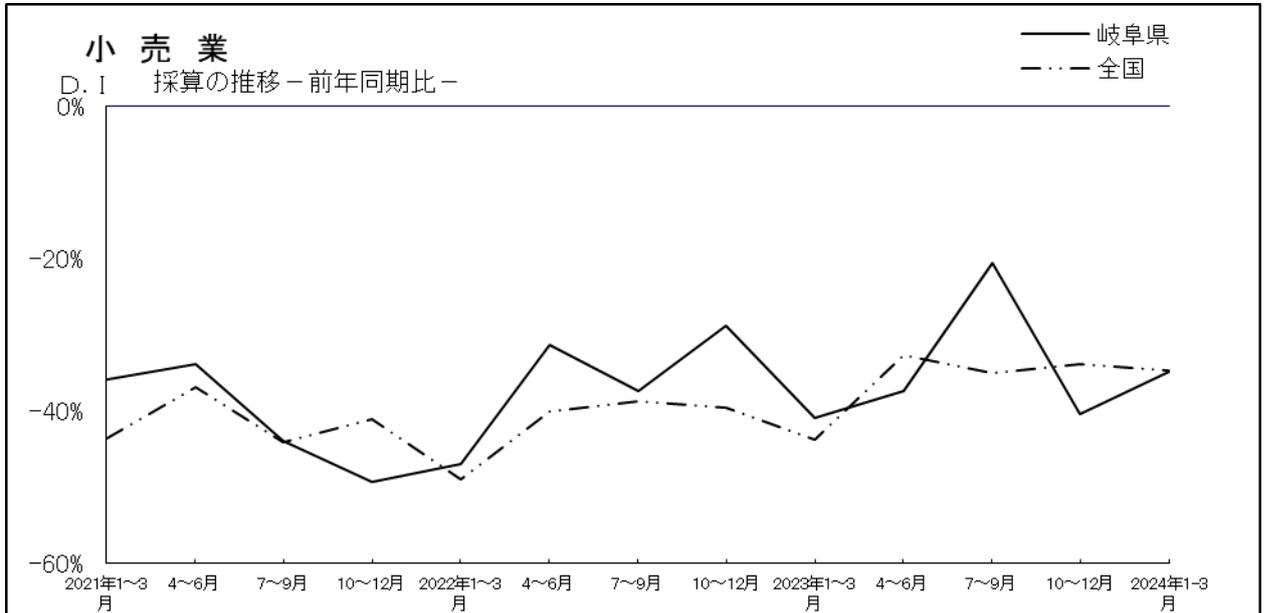
【G4-1】小売業D I：業況の推移



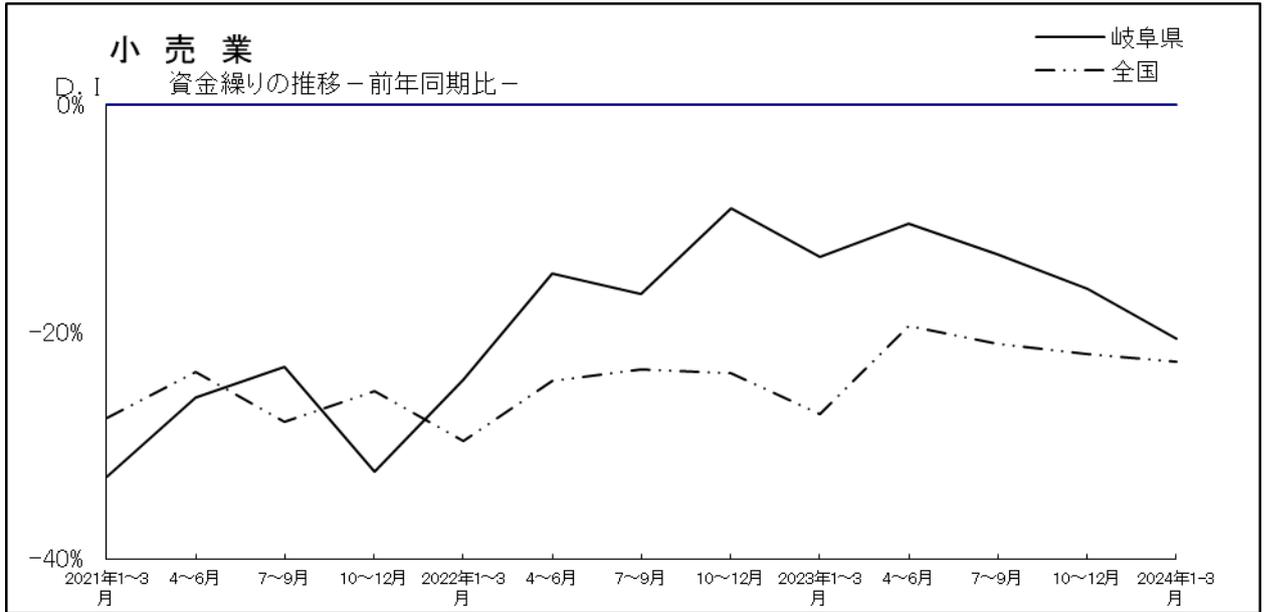
【G4-2】小売業D I：売上額の推移



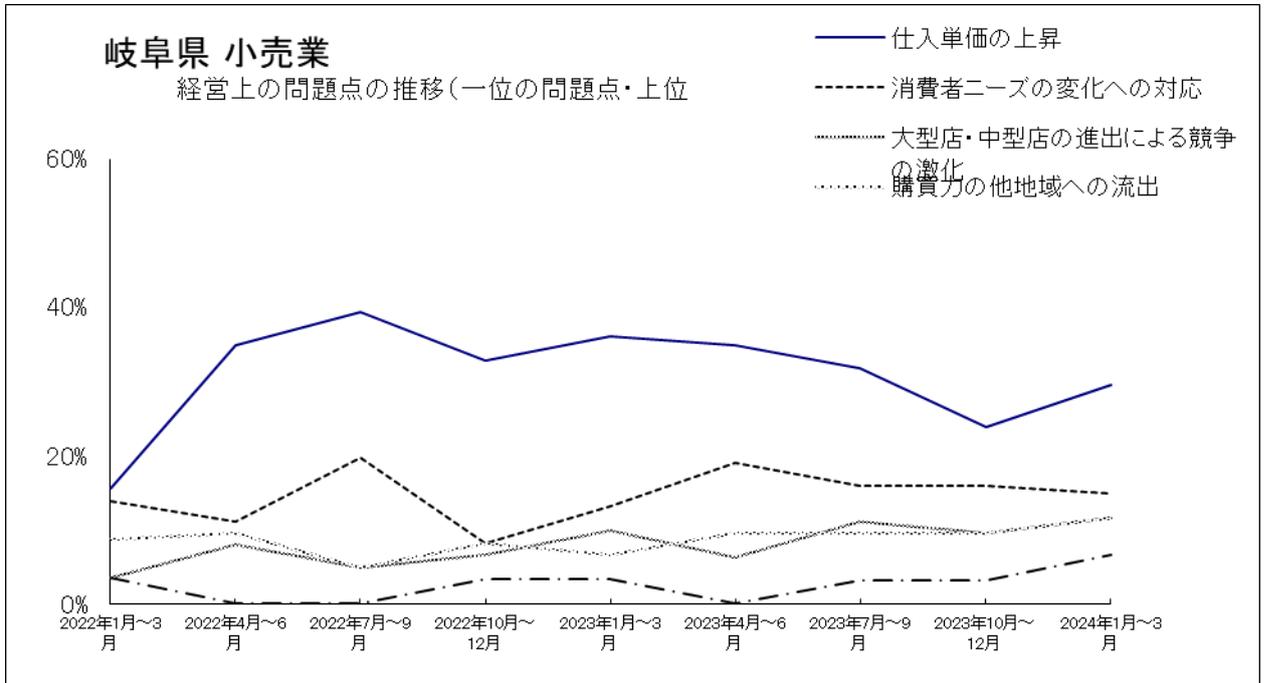
【G4-3】小売業D I：採算の推移



【G4-4】小売業D I：資金繰りの推移



【G4-5】小売業：「経営上の問題点」の推移



全てのD I 値が悪化 来期は設備投資の件数が増加の見通し

Ⅳ サービス業

前年同期比の業況D I 値は、▲18.6で0.4ポイント悪化。

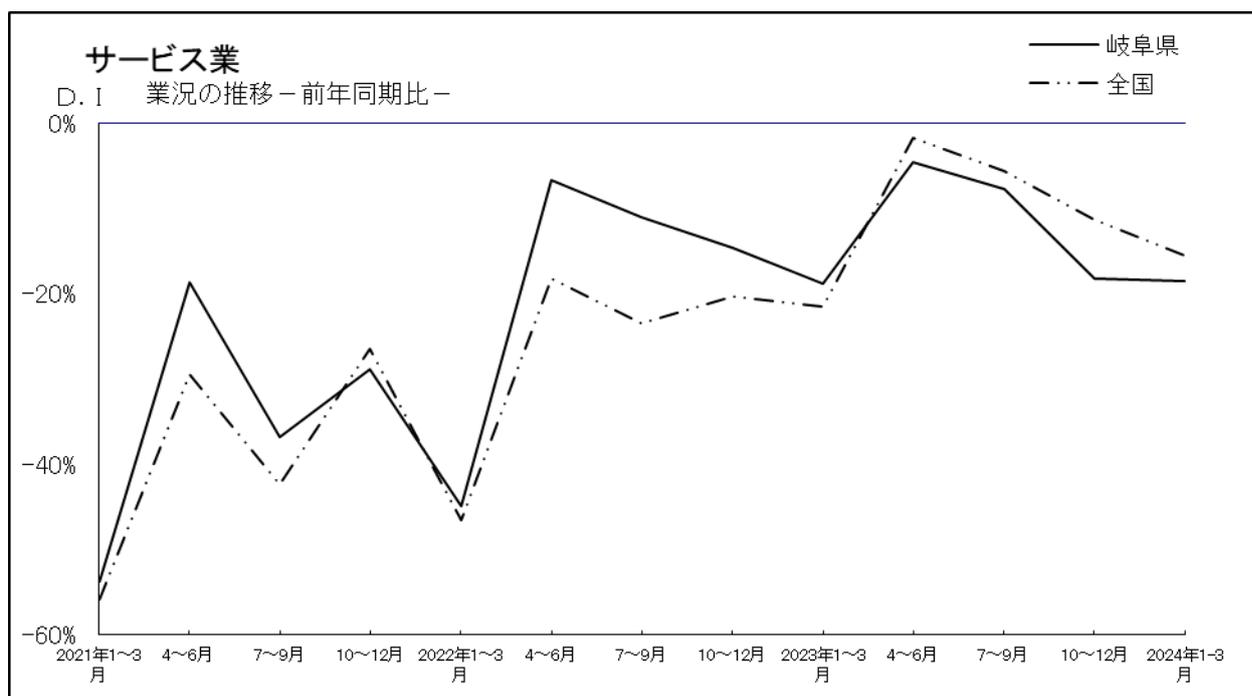
売上D I : ▲18.6で25.3ポイント、採算D I : ▲40.7で7.0ポイント、資金繰りD I : ▲18.8で7.6ポイントの悪化となった。

設備投資は、11企業13件で4企業、5件の増加。

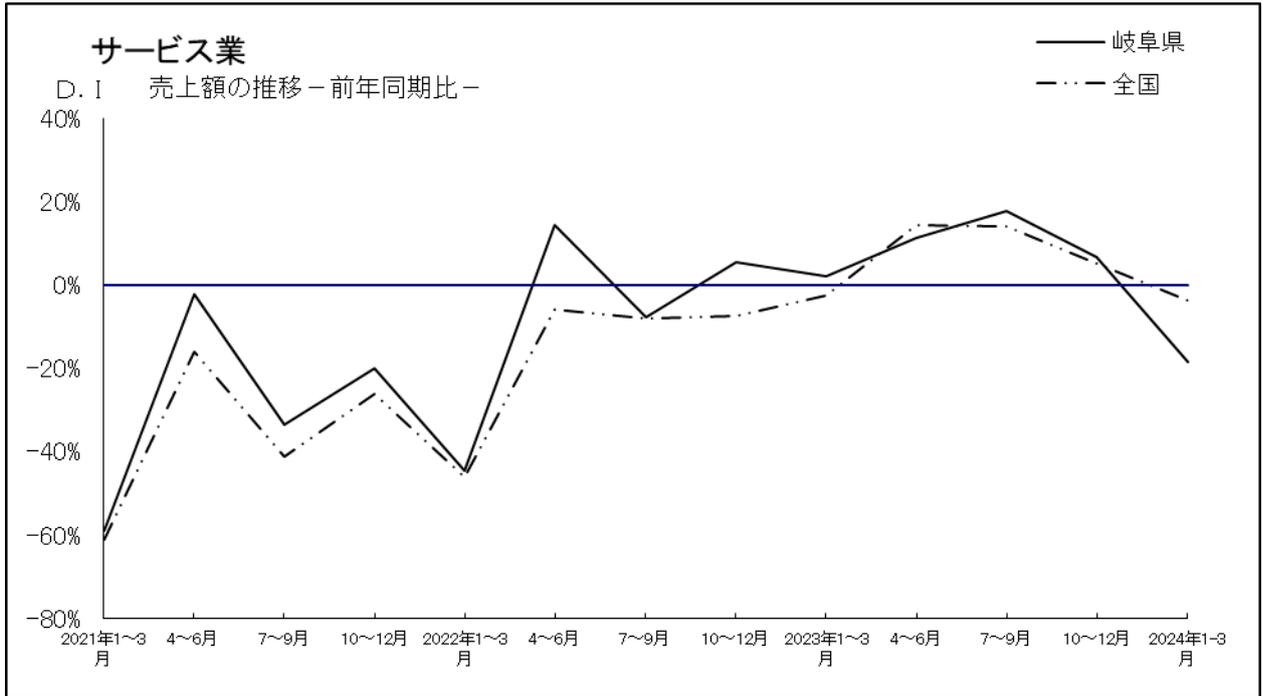
経営上の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」が35.4%でトップ、次いで「人件費以外の経費の増加」が12.2%であった。

来期は、業況D I 値のみ悪化の見通し。設備投資は11企業25件の計画で、今期に比べ企業数は変わらないものの、12件増加の見通しである。

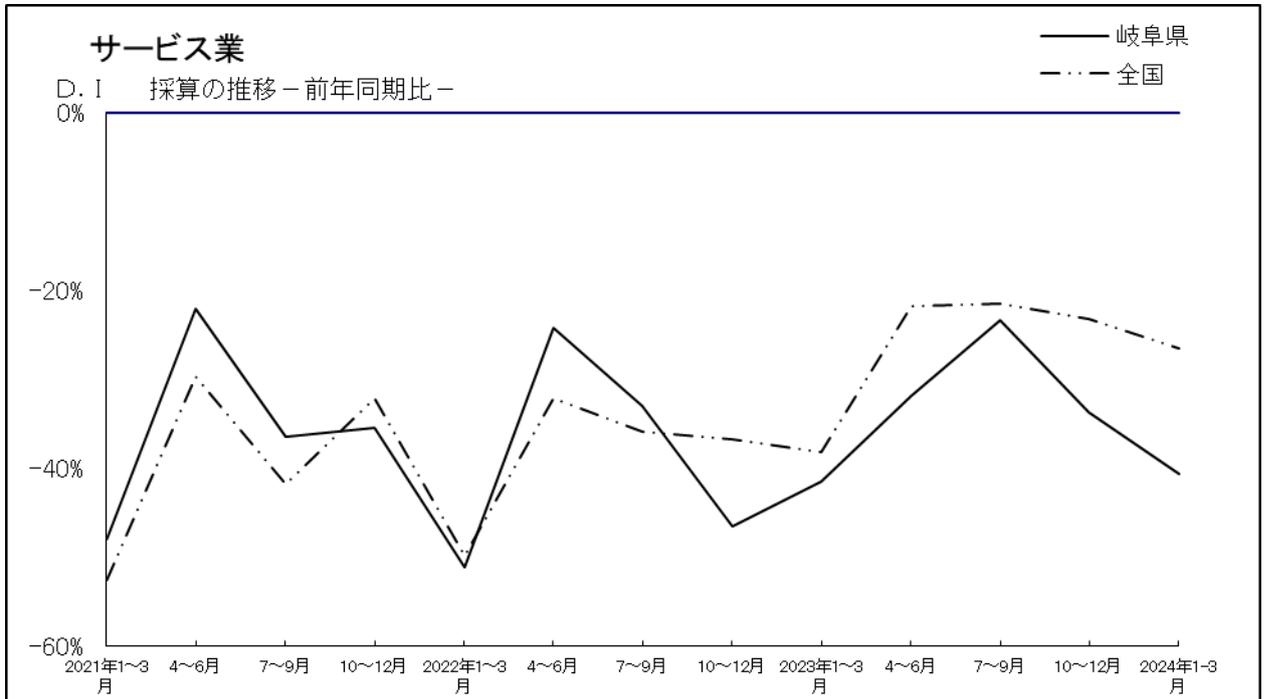
【G5-1】 サービス業D I : 業況の推移



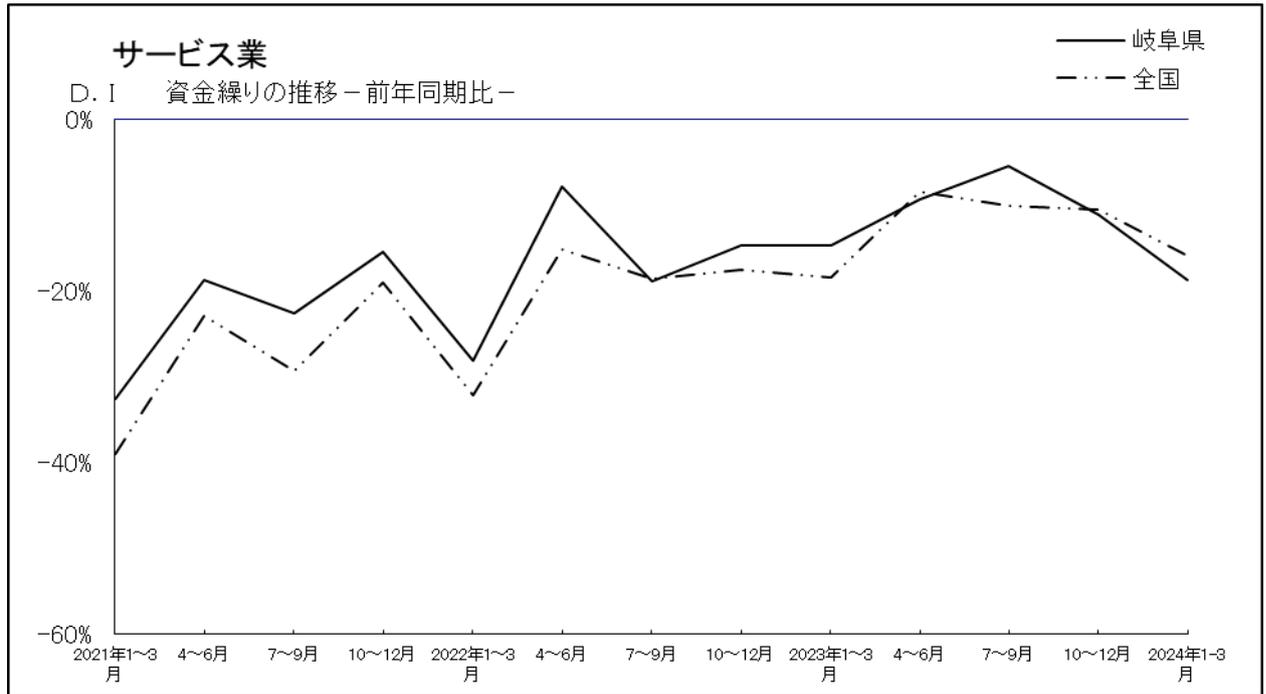
【G5-2】 サービス業D I：売上額の推移



【G5-3】 サービス業D I：採算の推移



【G5-4】 サービス業D I：資金繰りの推移



【G5-5】 サービス業：「経営上の問題点」の推移

